



社団法人九州住宅建設産業協会
KYUJUKYO
 〒812-0011
 福岡市博多区博多駅前2-11-16
 第二大西ビル6階
 TEL : 092-472-7419
 FAX : 092-475-1441
 e-mail : info@kyujukyo.or.jp

九住協だより Vol. 3

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
 当協会は、平成24年8月設立満50周年という節目の年を迎え、会員は現在155社を数えております。

平成24年11月1日に幹事協会として開催致しました、九住協設立50周年記念住協連第45回全国大会福岡大会にあたりましては、皆様方多数ご参加を頂きましてありがとうございました。おかげで有意義かつ盛大な大会を挙行することができました。

式典の折り、国土交通大臣から「当協会は多年にわたり宅地造成及び住宅建設事業の振興に尽力され、公共の福祉の増進に多大の貢献をされた」ということで、私が代表して感謝状を頂きました。

これも一重に会員各位のご協力のおかげと厚く感謝申し上げる次第でございます。

不動産・住宅産業界は、平成20年9月サブプライムローン問題に端を発したリーマンショック以来、いまだ厳しい状況が続いております。

全国大会におきましては、

- ・住宅取得時の消費税負担を今以上増やさない恒久的な軽減措置の創設
- ・土地・住宅に係る登録免許税の軽減措置の延長
- ・不動産譲渡等の印紙税の廃止又は特例措置の延長
- ・サービス付き高齢者向け住宅供給促進税制の延長
- ・住宅金融支援機構の融資制度の拡充・改善

の5項目が大会決議されたところでありますが、国は当然のことながら、国民の立場に立って、我が国経済を本格的な回復軌道に乗せるための施策を講じて頂きたいと念願しているところです。

九住協は、公益法人制度改革の流れの中で、平成25年4月1日、一般社団法人九州住宅建設産業協会として活動していくことになっておりますが、私ども九住協会員一同、今後ともユーザーの為、安心安全な住まいづくりに努めるとともに、社会貢献事業の取り組みなどを通じて、社会福祉の増進に努めたいと考えております。

最後になりましたが、皆様方には、当協会の発展になお一層のご協力ご支援をお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝ご多幸を祈念致しまして、私のご挨拶と致します。



(社)九州住宅建設産業協会
 理事長 諸藤 敏一

九住協設立 50 周年記念 住協連第 45 回・福岡大会の開催

1、全国大会

○日時:平成 24 年 11 月 1 日(木)14 時～15 時 30 分

○場所:ホテル日航福岡 3F「都久志の間」

○参加者:520 名(会員 491 名・来賓 29 名)

○概要:定刻の 14 時、吉田立志 静岡県都市開発協会理事長による開会宣言が行われ、国家斉唱、住協連関係物故者に対する黙禱、来賓並びに参加協会紹介に続いて、住協連 神山和郎会長による主催者挨拶、九住協 諸藤敏一理事長による開催地協会挨拶が行われた後、ご来賓の方々を代表して国土交通省塚本和男土地建設産業局次長、福岡県 山崎建典副知事、福岡市高島宗一郎市長、住宅金融支援機構河村正人理事長代理の 4 名の方々からご祝辞を賜りました。

続いて塚本和男次長から九住協 諸藤理事長に対し、九住協設立 50 周年を記念して、国土交通大臣感謝状が贈呈されました。

政策提言では、住協連 馬場研治副会長(政策委員長)から「住協連としての全国大会は、今回が最後になりますが、私達にとっての政策提言は協会活動の最も重要な項目であることに変わりはありません。来年からは一本化された新たな組織として、これまで同様、全国大会を開催し、事業者としての声、住宅を必要とする国民の声を代表する提言を続けていきたいと思えます。」と述べた上で、消費税増税後の特別扱いすべき「住宅取得支援」や消費税の負担増を緩和する手法としての「フラット 35」に関連する融資制度システムづくり等の必要性を強調され、私達の業界は社会に貢献できる健全な発展に努めていますが、経済の活性化と国民の豊かさの実現に向け、私達が目指す事業の遂行に引き続き尽力を賜りますようお願いいたします。」と述べ、政策提言を結ばれました。

続いて九住協 橋本大輔副理事長が

- ①住宅取得後の消費税負担を今以上増やさない恒久的な軽減措置の創設
- ②土地・住宅に係る登録免許税の軽減措置の延長
- ③不動産譲渡等の印紙税の廃止又は特例措置の延長
- ④サービス付高齢者向け住宅供給促進税制の延長
- ⑤住宅金融支援機構の融資制度の拡充・改善

の 5 項目からなる大会決議を宣言。満場一致で採択されました。

続いて、優良団地として 6 団地が表彰を受け、表彰状と記念品が授与され、また国家褒章受章者 11 名の方々並びに住協連退任役員 8 名の方々に、それぞれ記念品が贈呈されました。

この後、次期開催地幹事協会の東海宅協 南喜幸副理事長の挨拶が行われ、広島宅協 川西祐二理事長により厳粛かつ盛大に執り行われました全国大会の閉会が宣言されました。

2、記念講演会

○日時:平成24年11月1日(木)15時45分～16時45分

○場所:ホテル日航福岡 3F「都久志の間」

○テーマ:がんの話と人間力の磨き方

○講師:ジャーナリスト 鳥越俊太郎 氏

○概要:鳥越氏は、大腸がん・肺がん・肝臓がんと4回の手術を受けた経験

談を話された。心臓病と脳疾病は、生活習慣を変えることや食事療法で逃れられる道もある。しかし、がんだけは発生のメカニズムがまだよく解明されていない。今やがんは人類の敵 NO.1 になっている。がんは、痛みの信号を送ってこない。自分の方から見つけに行くしかないと言われ、60歳を過ぎたら必ず年に1回もしくは2年に1回は、がん検診を受けてほしいと話された。

4. 懇親会

○日時:平成24年11月1日(木)18時～20時

○場所:ホテル日航福岡 3F「都久志の間」

○参加者:561名(会員:491名、来賓:70名)

○概要:金子幸生大会実行委員長の開会のことばに続き、住協連 神山会長 が、消費税増税問題に触れて「欧米の先進諸国のほとんどが住宅に関して軽減税率を適用している。日本でも出来ないはずはない。年末に向けてさらに議論を強めていく」として、会員各位の協力を求める旨のご挨拶を行った。その後、来賓を代表して松山政司参議院議員、住宅金融支援機構 渡邊靖司九州支店長にご挨拶をいただき、引き続き渡邊靖司氏の乾杯のご発声で開宴いたしました。

会場では、小倉祇園太鼓の勇ましい演奏やアラの解体ショーを行ったほか、玄海の海の幸をネタとした「寿司」福岡市能古島「能古うどん」大宰府天満宮由来「梅ヶ枝もち」鹿児島「さつまあげ」熊本「馬刺し」など福岡・九州の食が並ぶコーナーを設けて、全国各地から参加した会員や来賓をもてなしました。

19時50分、九住協 今村重記副理事長による中締めの挨拶で懇親会が終了いたしました。

5. ゴルフ大会

○日時:平成24年11月2日(金)

○場所:福岡カンツリー倶楽部(和白コース)

○参加者:107名

○概要:福岡屈指の名門コースで、当日は天候にも恵まれ、参加者の皆様 方には思う存分にプレーを楽しんでいただけたことと存じます。

全組のプレーも参加者がスムーズな進行にご協力いただいたおかげで、予定時間内に終わることができ、表彰式を執り行うことが出来ました。

全国大会式典 ご挨拶・ご祝辞(要旨)

神山和郎会長

わが国の経済は、欧州債務危機の再燃による長引く『円高』、『原油高』、『電力供給の制約』、『長期に亘るデフレの進行』から一向に景気回復の兆しが見えない。住宅不動産業界においてもここ数年の新設住宅着工戸数は80万台に溜まつている。リーマン・ショック後の大幅な減少から回復を見ることもなく、以前より低い状況が続いている。先の通常国会では消費税率の引き上げが決定されたが、国民の住宅取得を支援するとともに、わが国の経済を回復基調に向かわせるためにも、住宅取得時の負担を今以上増やさない恒久的な措置が必要と考える。また、金融面から良質な住宅供給促進を支援するために、住宅金融支援機構の『フラット35』Sの金利引き下げ措置の拡充、および特に若年層の所得環境が改善されない現状では融資率の上限を10割に戻す必要があると考える。我々を取り巻く環境は厳しいものがあるが、会員各位は現下の状況を理解し、全員一丸となつてこれらの打開に尽力することを願います。また、来賓の皆様にも、より一層のご理解とご協力をお願いしたい。

諸藤敏一理事長

本日はご多忙の中、多くのご来賓の方々にご臨席賜り、心よりお礼申し上げます。また、全国各地から住協連各協会の方々も多数ご参加頂き本大会を盛大に執り行うことが出来たことを、幹事協会を代表して、心から御礼申し上げます。私ども九住協は、現在151社の会員を擁し、日々会員相互のレベル向上を図るとともに、都市行政との整合性を図りつつ理想の街づくりを貢献することに邁進してきました。本年、九住協は設立50周年を迎えました。この記念すべき年に、ここ九州・福岡で住協連全国大会を開催させて頂くことになり、身に余る光栄と存じます。昨今、景気の低迷、政治の混乱、昨年の震災など日本人々の暮らしは何かしら不透明で不安な状況が続いています。このような状況の中、九州、特に福岡は『暮らしやすい都市』として、何かと注目されています。われわれと致しましても、誇りに思う反面、緊張した思いも感じています。本日お集まり頂いた皆様には2日間ではあります、式典、懇親会といった交流の場を通じて九州・福岡の様子を感じて頂き、皆様のお仕事に少しでも役立つものがありましたら、私の何よりの幸せです。また、厳しいご意見、ご助言を是非ご遠慮なく頂きたいと思えます。今大会が有意義なものになりますよう、一生懸命務めさせて頂きます。

塚本和男

わが国は依然として厳しい経済情勢が続いています。長引くデフレ、不況脱却に向けた税制要綱など、経済対策をとりまとめ、不動産証券化の推進による不動産市場の活性化などスピード感をもって政策的に対応して行く所存です。また、グローバル化する経済の中で、増加する内外投資に対抗して行く必要があると思えます。健全な不動産市場の秩序を維持し、発展させる様々な手法を確立するなど、不動産取引の一層の適正化、活性化を図つて行きたいと思えます。住宅は人生の大半を過ごす、欠くことの出来ない生活の基礎です。消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要とその反動が経済に大きな影響を及ぼす恐れがあります。消費税率引き上げによる経済への悪影響を避けるため、必要な財政、金融措置を検討して行きたいと考えています。貴連合会におかれましては従来から都市政策、住宅政策の推進に格別のご協力を頂いており、今後とも各種施策の推進、実現にさらなるご協力を賜りたいと思えます。

高島宗一郎福岡市長

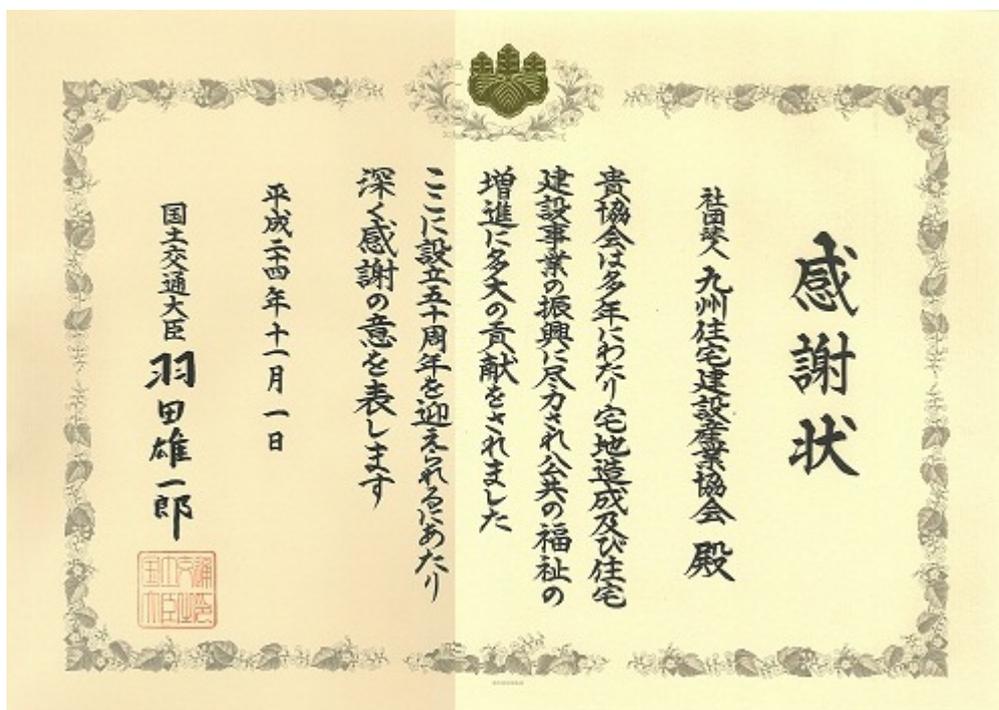
皆様におかれましては長年に亘り、宅地造成・住宅建設を通じて安全・安心の街づくりと地域経済の発展に大きく貢献して頂いています。また、持続可能な成長を実現するため、豊かな自然を大切に守り、環境負荷の小さい低炭素・循環型の街づくりも非常に重要になっていきます。福岡市のアイランドシティではCO2ゼロ街区『照葉スマートタウン』がオープンしました。こうした魅力ある街づくりには皆様のご助力が不可欠です。ご協力のほどよろしく申し上げます。



九住協設立 50 周年にあたり国土交通大臣から感謝状



感謝状授与写真:国土交通省 土地・建設産業局塚本和男次長より九住協諸藤敏一理事長へ感謝状授与。



九住協会員情報コーナー

平成25年1月1日	
福岡本部	109
鹿児島県支部	46
合計	155

【新入会員】(平成24年11～平成25年1月 入会 敬称略)

(株)坂之上	川原 健一
(株)大濱組	大濱 鉄也
(株)アレックス	井上 政純
(株)小園硝子商会	小園 啓一
大福コンサルタント(株)	福田 光一

2月14～15日	1月17日	12月18日	12月12日	12月6日	12月5日	11月22日	11月15日	11月14日	11月2日	11月1日	10月12日	10月2日	九住協活動実績・予定	
首都圏	ANAクラウンプラザホテル福岡	パピヨン24	九住協事務所	八仙閣	芥屋ゴルフ倶楽部	名古屋マリオット	第二大西ビル	河太郎	太宰府国立博物館・鹿児島指宿	福岡カンツリー	ホテル日航福岡	八重洲博多ビル		第二大西ビル
住宅見学会	新年賀詞交歓会	12月研修会	国交省九州地方整備局検査	九住協忘年会	第3回ゴルフ同好会	住協連事務担当者会議	「バルコニー特許」について協議	全国大会実行委員会(第6回総括会)	観光旅行	住協連第45回全国大会 ゴルフ大会	九住協設立50周年記念 住協連第45回全国大会	全国住宅地開発厚生年金基金説明会		研修広報部会